Yamaha Marina Numazu

2026 年富士山ヨットレース

帆走指示書

【開催日】　2026 年 11 月 21 日（土）、11 月 22 日（日）
【開催地】　大瀬崎と沼津港を結んだ線の東側奥駿河湾海域
【主　催】　ヤマハマリーナ沼津オーナーズクラブ
【共　催】　多比ヨットクラブ
【運　営】　2026 年富士山ヨットレース実行委員会
【主　幹】　ヤマハマリーナ株式会社沼津営業所

１，適用規則

本レースは、『セーリング競技規則 2025-2028（RRS）』の規則が適用されます。
上記競技規則と当帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先とする。

２，出場資格

① 富士山を望む海をフィールドとし、セーリングを愛する方。
② 艇長を含む乗員の数は小型船舶安全規則に定める最大搭載人員（定員）を超えていないこと。
③ ヨット保険（第3者賠償責任保険を含む）に加入していること。
④ 有効な小型船舶検査証書を有している艇であること。
⑤ 乗員全員が確実に作動する適性なライフジャケットを着用していること。
⑥ 参加者は故意にごみを海中に投棄しないこと。

３，コミュニケーション

① 公式掲示板　ヤマハマリーナ沼津HP URL:https://numazu.yamaha-marina.co.jp
② レース陸上本部
　所 在 地：　ヤマハマリーナ沼津2F　TEL055-939-0311
　期　　間：　2026年11月21日　　9:00～18：00　　11月22日　9:00～15:00
　海上本部：　連絡先　石上　080-3558-4313
③ スタート2時間前からレース終了までの帆走に関わる通告は、海上で行います。
④ 海上で通告を行う場合は、本部戦に **L 旗** を掲揚し、口頭により通告します。

４，クラス・クラス旗の色

① ショートハンドクラス（乗員1～3名）　**黄色リボン**をバックステーに結ぶ
② ホワイトセイルクラス　**緑色リボン**をバックステーに結ぶ
③ フルクルークラス　**白色リボン**をバックステーに結ぶ
＊参加艇にリコールNOを貸与しますので、左舷側面（後方）に装着してください。
　貸与したリコールNOは、レース終了後レース本部に届けてください。

５，順位の決定

各艇の所要時間にTCC（時間修正係数）を乗じた修正時間により順位を決定する。
修正時間が同一の場合は、RTの低い艇が上位とする。
各艇のTCCは『2026年富士山ヨットレース』レース委員会で決定する。

Yamaha Marina Numazu

６，レース日程

① 艇長会議　11月14日　14:00　ヤマハマリーナ沼津３F
② オンライン参加　Teamsによる

③ 11月21日（土）上下ブイ回りレース
12:30　海上チェックイン
13:00　フルクルークラス　スタート
13:15　ショートハンドクラス　スタート
ホワイトセイルクラス　スタート
*フルクルークラス上下4レグ
*ショートハンドクラス、ホワイトセイルクラス上下2レグ
*レース進行具合により、１または2レース

④ 11月22日（日）　ディスタンスコース（6～8マイル）
10:00　海上チェックイン
10:30　ショートハンドクラス、ホワイトセイルクラス　スタート
11:00　フルクルークラス　スタート
*タイムリミット14:00

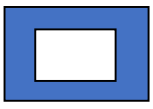
７，コース

① 11月21日（土）上下ブイ回りレース　別紙①参照
１）ショートハンドクラス、ホワイトセイルクラス
スタート→マークブイ→フィニッシュ（２レグ）
２）フルクルークラス
スタート→マークブイ→リミットマーク→マークブイ→フィニッシュ
（４レグ）

② 11月22日（日）ディスタンスコース　別紙②参照
スタート→足保漁港沖付近マークブイ（反時計周り）→フィニッシュ

８，スタート

① スタートラインは、本部艇が掲げる「白地に赤色ロゴのYAMAHA旗」とリミットマークブイ（L）を結ぶ線
② スタート信号
（11月21日上下ブイ周りレース）
A）フルクルークラス
５分前：**白色旗**を掲揚し、音響信号１声を発する。
４分前：Ｐ旗を掲揚し、音響信号１声を発する。
１分前：Ｐ旗を降下し、音響信号１声を発する。
スタート：**白色旗**を降下し、音響信号１声を発する。

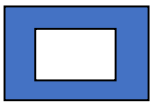

Ｐ旗

B）ショートハンドクラス・ホワイトセイルクラス
５分前：**黄色旗緑色旗**を掲揚し、音響信号１声を発する。
４分前：Ｐ旗を掲揚し、音響信号１声を発する。
１分前：Ｐ旗を降下し、音響信号１声を発する。
スタート：**黄色旗緑色旗**を降下し、音響信号１声を発する。

（11月22日ディスタンスコース）

A）ショートハンドクラス・ホワイトセイルクラス

５分前：**黄色旗緑色旗**を掲揚し、音響信号１声を発する。
４分前：Ｐ旗を掲揚し、音響信号１声を発する。
１分前：Ｐ旗を降下し、音響信号１声を発する。
スタート：**黄色旗緑色旗**を降下し、音響信号１声を発する。



Ｐ旗

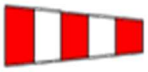
B）フルクルークラス

５分前：**白色旗**を掲揚し、音響信号１声を発する。
４分前：Ｐ旗を掲揚し、音響信号１声を発する。
１分前：Ｐ旗を降下し、音響信号１声を発する。
スタート：**白色旗**を降下し、音響信号１声を発する。

＊時計は各信号旗を優先し、音声信号の不発は無視する。

③ スタートの延期

スタート延期の場合、延期信号として回答旗を掲揚、
音響信号１声を発する。
そののち回答旗降下、音響信号１声を発した１分後に
スタート５分前とする。



回答旗

④ スタートラインの消滅：

スタートラインはスタート１０分後に消滅する。

９、リコール

① リコール：音響信号１声と共にＸ旗を掲揚する。
Ｘ旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。
但し、これに関わらず、スタート１０分後には降下する。



Ｘ　旗

② ゼネラルリコール：音響信号２声と共に第１代表旗を掲揚する。
新しいスタートは第１代表旗降下、音響信号１声を発した
１分後に**クラス旗**を掲揚し、再スタート５分前とする。



第一代表旗

③ フィニッシュした艇に対し、本部船より各々音響信号１声を発する。
１声がない場合はリコール艇であり、そのリコールを解消しないままレースを続行、フィニッシュラインを通過したもので失格となる。

１０、フィニッシュ

① フィニッシュラインは海上の本部船が揚げる「白地に赤色ロゴのYAMAHA旗」とリミットマークブイ（Ｌ）を結ぶ線とする。
② フィニッシュ本部船には青色旗を掲揚する。
③ フィニッシュは全クラス共、流し込みとする（廻り込みではない）。



青色旗

１１，レースの中止



Ｎ　旗

スタート信号後でもコミッティー（本部船）は下記のいずれかの理由によりレースを中止（ノーレース）することがある。その際は音響信号３声と共にＮ旗を掲揚。

A）悪天候（大幅な風向の変化を含む）
B）どの艇もタイムリミット内にフィニッシュで出来そうもない不十分な風。
C）競技の安全、または公正に直接影響するその他の理由。

Yamaha Marina Numazu

１２，コースの短縮

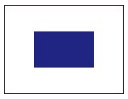
天候上、時間内に多くのレース艇がフィニッシュ出来そうもないとコミッティー（本部船）が判断した場合、コースの短縮を行う。

① コース短縮の場合は本部船とマークボートより音響信号２声と短縮の該当するクラス別信号旗を掲揚する。

A) フルクルークラス
信号旗：Ｓ旗

B) ショートハンドクラス、ホワイトセイルクラス
信号旗：第２数字旗

② トップ艇がこれより回航しようとしているマークブイと本部船、またはマークボートを結ぶ線を短縮後のフィニッシュラインとする。本部船、又はマークボートを左に見て、マークブイを右に見て通過。
フィニッシュラインになる本部船、またはマークボートには青色旗、およびクラス別信号旗を掲揚する。



Ｓ　旗



第２字旗



青色旗

１３，レース艇の義務

① 出艇申告より帰着申告まで、所定のレース旗をバックステージ（デッキより1.5m以上の高さ）に掲揚する。リタイヤした場合は、直ちに降ろすこと。
② リタイアした艇は速やかに海上の本部船に報告すること。TEL080-3558-4313石上迄
③ 出艇申告し、スターしない艇は速やかにその旨を海上本部船に報告する。
④ レース中に事故があった艇は、レース後速やかにレース本部に文書にて報告する。
⑤ フィニッシュした艇は速やかにフィニッシュライン付近より離脱し、海上本部艇に帰着申告すること。

１４，規則違反の罰則

① RRS31（マークとの接触）は、1回転ペナルティ（同一方向に1回のタックと、1回ジャイブを含む回転）を行うことにより罰則を履行したこととする。
マークの回り直しではない。
② レース中にＪＳＡＦ競技規則第２章の規則に違反したかもしれない艇は、ケースの後、可及的速やかに他の艇から十分離れた後、速やかに２回のタックと２回のジャイブを含む同一方向への２回転を行うことにより「２回転ペナルティー」を履行したこととする。
③ その他、レース規則に違反した艇は失格または３０％以上のタイムペナルティーを課すことがある。

１５，その他

① 本部船は海上で「白地に赤色ロゴのＹＡＭＡＨＡ」を掲揚している。
② マークボートは海上で「赤地に白色ロゴのＹＡＭＡＨＡ旗」を掲揚している。
③ レースの終了は本部船のヤマハ旗を降下した時点となる。

１６．リスク・ステートメント

レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。レースに参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。

セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
主催団体は、レースの前後、レース中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

１７，賞及び表彰式

① 賞については、21日マークブイ上下レースと22日ディスタンスレースのポイントの合計により順位とする。
＊総合優勝
＊ショートハンドクラス　1位　2位　3位
＊ホワイトセイルクラス　1位　2位　3位
＊フルクルークラス　　1位　2位　3位
但し、参加艇数よって変更する場合がある。
② 表彰賞式は、22日PM14:00からのパーティ内で行う。

１８、『2026年富士山ヨットレース』実行委員会組織

大会実行委員会	実行委員長	宮 内 伸 彦	オーナーズクラブ会長
	実行副委員長	工 藤 智 之	多比ヨットクラブ会長
	レース委員長	眞　壁　仁	ヨット部長
	レース委員	岡 本 健 治	ヨット部
	同	吉 川 正 敏	TYCレース委員
	同	原　岳 大	ヤマハマリーナ沼津所長

＊陸上本部　055-939-0311　海上本部　080-3558-4313

陸上本部	オーナーズクラブ事務局　/　高田･古地
海上本部	八木･石上･天野･岩見
運　営	中村他マリーナスタッフ
撮影取材	杉山ボート部長･船上カメラマンKAZ･SBSテレビ

Yamaha Marina Numazu

参考　　本部艇



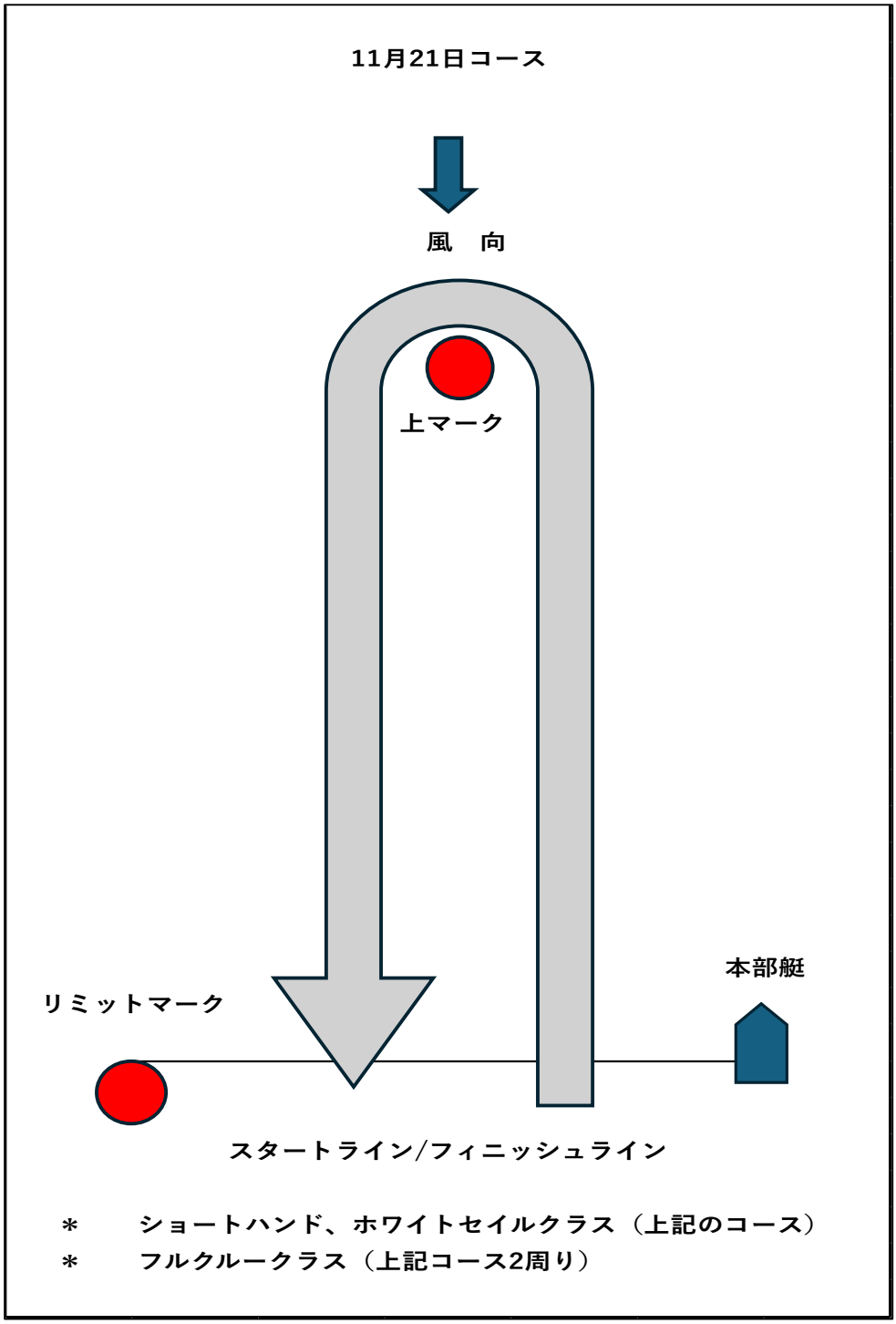
リミッターマーク
上マーク



Yamaha Marina Numazu

別紙①　上下ブイ回りコース　11月21日（土）

＊１レース又は2レース



Yamaha Marina Numazu

別紙②　ディスタンスコース　11月22日（日）

＊スタートフィニッシュラインイメージ



＊コース全体イメージ

